

- 問1 カナダの地理的・経済的特徴について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。（2020年 山形県公立入試 類似）
1. 広大な国土に対して人口密度が極めて低く、大規模な機械化農業によって世界有数の小麦の生産量を誇る。
 2. 広大な国土を持つが、乾燥帯が多いため農業は振るわず、経済は原油などの鉱産資源の輸出にのみ依存している。
 3. 熱帯雨林の開発により大豆の生産が盛んだが、急速な人口増加により1人あたりの国内総生産は低い水準にある。
 4. 豊富な労働力を背景とした集約的な稲作が行われており、人口密度が非常に高く、食料自給率も高い。
- 問2 メキシコシティは低緯度に位置していますが、気温が一年を通じて15度から20度の間でほぼ一定しており、過ごしやすい「常春」のような気候が特徴です。このような気候が形成される背景として、最も適切な説明を選んでください。（2026年 千葉県公立入試 類似）
1. 大陸の内部に位置し、乾燥した砂漠気候の影響で夜間の放射冷却が非常に激しいから。
 2. 周辺を寒流が流れる海に囲まれており、海からの冷たい風が一年中吹き込んでいるから。
 3. 標高の高い高原地帯に位置しているため、低緯度であっても気温が上がりにくく冷涼な状態が保たれるから。
 4. 広大な熱帯雨林の中に位置し、植物の蒸散作用によって地表の熱が常に奪われているから。
- 問3 五大湖周辺からピッツバーグにかけての資源分布を示す資料において、四角の記号で示される石炭や、三角の記号で示される鉄鉱石の産地が近隣に点在している状況が確認できる都市はどこですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）
1. サンフランシスコ
 2. ヒューストン
 3. ニューオーリンズ
 4. ピッツバーグ
- 問4 アメリカ合衆国がとうもろこしなどの農産物を大量に生産し、世界市場へ輸出できる背景には、広大な国土を活かした農業経営の特徴があります。その特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 山口県公立入試 類似）
1. 季節ごとに異なる作物を同じ土地で交互に栽培し、地力の消耗を抑える三圃式農業
 2. 森林を焼き払った後の灰を肥料として利用し、数年ごとに栽培場所を移動する移動式焼畑農業
 3. 広大な農地に大型機械を投入し、少ない労働力で効率的に生産を行う企業的な農業
 4. 限られた土地に多くの労働力を投入し、単位面積あたりの収穫量を最大化する集約的な農業
- 問5 北アメリカ大陸に位置するアメリカ合衆国、カナダ、メキシコの3か国が、互いの貿易を活発にするために関税を原則として撤廃することを目的として締結した協定の名称は何ですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
1. 東南アジア諸国連合（ASEAN）
 2. 欧州連合（EU）
 3. 環太平洋パートナーシップ協定（TPP）
 4. 北米自由貿易協定（NAFTA）
- 問6 アメリカ合衆国の乾燥地域であるグレートプレーンズでは、上空からの観察において多数の「緑色の円形が並ぶ農地」が見られることがあります。このような景観を生み出している「センターピット」と呼ばれる灌漑農法の仕組みとして、正しいものを選びなさい。（2023年 千葉県公立入試 類似）
1. 海水を淡水化する装置を農地の中心に設置し、円を描くように人力で散水して回る仕組み
 2. 円形の農地の中央に植えた高い樹木によって霧を発生させ、その水分を土壌に供給する仕組み
 3. 土地の中央に設けた巨大な水槽から、放射状に掘られた水路に自然の傾斜で水を流す仕組み
 4. 地下水をくみ上げ、スプリンクラーを備えた長いアームを回転させて散水する仕組み
- 問7 北アメリカ大陸の西側に位置し、大陸を南北に貫くように連なる標高が高く険しい褶曲山脈の名称を選びなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）
1. アパラチア山脈
 2. アンデス山脈
 3. アルプス山脈
 4. ロッキーマウンテン山脈
- 問8 アメリカ合衆国の農業統計において、農地100ヘクタールあたりの農業就業人口は約1.4人となっており、日本の約59人と比較して極めて少ない労働力で経営されていることがわかります。このような数値から読み取れる、アメリカ合衆国の農業の特色として最も適切なものはどれですか。（2021年 高知県公立入試 類似）
1. 労働力を確保するために、都市近郊で多くの人を雇い入れた集約的な栽培を行っている
 2. 家族経営を中心とした小規模な農地で、手作業によるきめ細かな栽培を行っている
 3. 広大な農地で大型機械を利用し、少ない労働力で大量の作物を生産している
 4. 狭い土地に多くの労働力を投入し、単位面積あたりの収穫量を高めている
- 問9 人口が3億人を超え、世界最大級の経済規模を持つアメリカ合衆国の社会経済的な特徴について述べた文として、正しいものを選んでください。（2019年 愛知県公立入試 類似）
1. 国民総所得は高い水準にあるが、工業化が遅れているため、輸出の大部分を農産物が占めている
 2. 世界最大級の経済規模を持つが、食料自給率は低く、穀物の大半を輸入に依存している
 3. 高い所得水準を誇る一方で、広大な農地を活かした穀物生産量は年間4億トンを超えている
 4. 人口増加に伴い食料不足が深刻化しており、1人あたりの国民総所得は年々低下している
- 問10 アメリカ合衆国の広大な国土で見られる多様な気候のうち、西海岸南部でみられる地中海性気候の「降水量」と「農業」の関係について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2019年 島根県公立入試 類似）
1. 北半球にありながら7月の気温が最も低いため、寒冷な気候に適したライ麦が栽培されている。
 2. 夏の降水量が非常に少ないため、乾燥に強いブドウやオリーブなどの果物栽培が行われている。
 3. 年間を通じて降水量が多いため、広大な平原で大規模な稲作が行われている。
 4. 冬の降水量が極端に少ないため、夏の豊富な雨を利用した綿花栽培が中心となっている。
- 問11 アメリカ合衆国、カナダ、メキシコの3か国が参加する北米自由貿易協定（NAFTA）の仕組みやその影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
1. 域外の国からの輸入品に対して高い関税を一律に課し、北アメリカの農業を保護した。
 2. 東南アジア諸国との協力関係を築くため、アメリカ合衆国を中心に設立された。
 3. 加盟国間で共通の通貨を導入し、国境を越えた人の移動を完全に自由化した。
 4. 域内の関税を撤廃することで、部品や製品の輸出入を自由にし、経済の一体化を進めた。
- 問12 メキシコの文化や歴史的背景について述べた次の説明のうち、産業と歴史の関わりを踏まえたものとして最も適切なものはどれか。（2023年 滋賀県公立入試 類似）
1. アジアと北米を結ぶ中継貿易で発展し、スペインの統治時代に導入された稲作技術により、現在は世界有数の米の輸出国となっている。
 2. 16世紀にスペインの植民地となり、銀の採掘が盛んに行われた歴史から、現在も世界有数の銀の産出国であり、キリスト教徒の割合が高い。
 3. 南半球に位置し、かつてイギリスの植民地であったため、キリスト教の中でもプロテスタントを信仰する住民が圧倒的に多い。
 4. 広大な熱帯雨林を活用したコーヒー栽培が盛んで、かつてポルトガルの植民地であった影響から、現在もポルトガル語が話されている。